※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	絵本製作	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵本には年齢別、テーマ別、しかけ絵本などいろいろな絵本があります。
多くの絵本を読んで絵本の世界を学び、お気に入りの１冊を見つけましょう。
また、子どもの発達と絵本の関わりを理解し、しかけ絵本の制作を通して絵本を楽しみましょう。
読み聞かせなどの発表もあります。
プリント教材で学習します。定期考査は実施せず、授業内テストを行います。

2　学習の到達目標

絵本に興味・関心を持ち、多くの絵本を鑑賞する。
子どもの発達に応じた絵本について理解する。
絵本の読み聞かせの基本を理解し、読み聞かせの発表をする。
しかけの技術を学習し、オリジナルのしかけ絵本を制作し、機会があればこども園で発表する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな絵本を鑑賞し、子どもの発達に応じた絵本を理解する。また、作者の思いや作品のテーマにふれる。 しかけの技術を習得し、制作に生かす。 製本の仕方を理解する。 読み聞かせの基本的な技術を知る。	絵本を鑑賞し、自分の言葉でふりかえりを書くことができる。 オリジナルのしかけ絵本を考え、制作に工夫することができる。また、聞き手に伝わるように、読み聞かせができる。 こども園訪問の際は、グループで実習の企画・運営をしていく。	絵本の鑑賞や制作について、積極的に取り組んでいる。 絵本をテーマ別や作家別などで主体的に選択し、読むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	絵本の鑑賞	いろいろな絵本を鑑賞する	a:子どもの発達に応じた絵本を理解する。 b:絵本を読んだ記録を自分の言葉で記述することができる。 ＰＯＰを作成する。 絵本の読み聞かせの方法を学び、実践する。 c:絵本と子どもの発達の関連や読み聞かせについて、興味・関心を持って取り組んでいる。	授業観察 小テスト	授業観察 読書記録 作品	授業観察 提出物
	しかけを学ぶ	絵本制作の技術を学ぶ	a:しかけの作り方を理解する。 絵本の構成を理解する。 絵本制作の手順を理解する。 b:工夫し個性を生かした作品である。 c:実習に興味・関心を持って取り組んでいる。	授業観察 小テスト	授業観察 作品	授業観察 提出物
後期	絵本制作	しかけ絵本を制作する	a:しかけの作り方を理解する。 b:オリジナルの作品である。 しかけ絵本の企画書、試作本を制作する。 子どもの発達に応じた絵本となっている。 c:　実習に興味・関心を持って取り組んでいる。	授業観察 小テスト	授業観察 作品	授業観察 提出物
	絵本製作・発表	製本する 読み聞かせをする こども園児との交流	a:製本の仕方を理解する。 b:製本前の仕上げや製本が丁寧に行われている。 こども園訪問では、絵本の発表や交流時の運営を協同で考え、実践することができる。 c:　実習に興味・関心を持って取り組んでいる。 1年間を振り返り、学びを総括し、お気に入りの絵本を見つけることができる。	授業観察 小テスト	授業観察 作品 発表	授業観察 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度